

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑩	学校名	大淀養護学校
----	---	-----	--------

1. 取組名 大淀養護学校地域連携プロジェクト

2. 活動内容

(1) 大淀町の幼稚園での園庭整備を実施

本校と同町内にある公立幼稚園に出向き、生徒が園庭や花壇の整備に取り組む活動を実施した。園庭の整備では、色あせた木製ベンチやペンキがはがれて錆びた鉄製遊具の塗装作業に取り組み、生徒たちが電動工具や手工具を使って汚れや錆を落とし、ペンキを塗って仕上げた。花壇の整備では、スコップ等を使って土を耕し、新しい土や肥料を加えながら花の苗を植えた。また、熊手や手箕を使い園庭や溝にたまった落ち葉集めに取り組んだ。

(2) 警察と連携した交通安全運動を実施

本校児童生徒会が吉野警察署と連携して交通安全運動を実施した。学校近郊の街頭に出て、車のドライバーさん等に手作りのマスコットを配布した。

(3) 「食の乱反射」にスタッフとして参加

11月に五條市で実施される「食の乱反射」に参加し、事務局や各出店ブースのスタッフとして活躍した。



3. 成果と課題

- 幼稚園からの依頼に対し、自分たちの力で依頼に応えようとする主体的な姿勢が生まれると共に、初めてのことにチャレンジするチャンスとなった。
- 幼稚園の依頼に応えるための力をつけるという目的意識が芽生え、学校の授業の題材に積極的に取り組む態度が生まれた。
- 園児に対して作業を体験させるために、教える工夫をしたり安全に作業するためによく考えたりする機会となった。
- 偶発的に遭遇する学びのチャンスを活かすための準備や工夫が必要である。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

- 自分の活動がどのような意味をもっているのかを実感しやすい活動として、是非継続して実施していきたい。
- 地域との関わりの中で、自分が身につけた力を発揮する機会として継続していきたい。
- 学校や地域の双方に大きなメリットとなるようしっかり意思疎通して準備を進めたい。
- 良い交流をするためには、指導者どうしが相互の目的やねらいをよく理解した上でよい関係を築いていくことが大切だと感じている。